

# 三心を磨く

学校だより NO. 21  
令和元年 9月19日(木) 発行  
須坂市立東中学校  
文責：金井 勝久 (教頭)  
<http://www.azuma-school.ed.jp/>

## 令和元年度 全国学力・学習状況調査の結果より

4月18日(火)に、全国の中学3年生・小学6年生が行いました「全国学力・学習状況調査」の結果が、7月末に公表されました。今後の教育活動に役立てるため、本校の結果を分析いたしましたので、その概要をお知らせいたします。尚、この調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、総合的な学力を示すものではありません。

### 1 調査の概要

- (1) 調査対象 ◇中学校 第3学年 (本校の調査実施人数：55人)
- (2) 調査内容 ①教科に関する調査 ○国語 ○数学 ○英語 ○英語(話すこと)  
②質問紙調査 ○生徒に関する調査 ○学校に関する調査

### 2 調査結果の概要

【凡例】・上回る … +3.0以上 ・やや上回る … +1.0以上～+3.0未満 ・同程度 … 0.0～±1.0満  
・下回る … -3.0以上 ・やや下回る … -1.0以上～-3.0未満 ・同程度 … 0.0～±1.0未満

#### (1) 教科に関する調査結果の概要

	国語	数学	英語	英語(話すこと)
全国との比較	やや下回る	上回る	下回る	同程度
長野県との比較	やや下回る	上回る	下回る	

#### 【考察】

これまで「国語」・「数学」の検査は、A(知識)・B(活用)に分かれていましたが、今年度の検査からは1本化されました。また、「英語」「英語(話すこと)」が追加実施されました。

まず「数学」ですが、全国平均・県平均をともに大きく上回る結果となりました。数学は昨年度も「やや上回る」という結果でしたが、今年度は「活用する力」が伸び、飛躍できました。

これは、これまでの取り組みであるICTを活用した協同的な学びによる授業改善、家庭学習の充実、テストサイクルを見直しできるようにしてテストへの転換、日課の変更による家庭学習の日・補習の日の設定、夏休み中に5日、春休み中に4日の補習授業、TT指導の充実(数学は毎時間)・チェック問題を利用したプリント学習と添削等の取組の成果と思われる。

「国語」と「英語(話すこと)」は、全国平均・県平均「ほぼ同等」といえるの結果でした。「国語」は、漢字の問題が無くなり、答えが1つではない問題、自分の考えを書かせる問題が大幅に増えました。「英語(話すこと)」の検査は「初の試み」でした。共に新傾向の問題・検査であったことから、生徒たちには戸惑いもあったように思います。対応を急ぎたいと思います。

「英語」については、全国平均・県平均を下回っています。東中の「新たな課題」であります。「英語」は今年度始めて行われた検査です。同時に行われた「生徒への質問調査」の集計によると、現3学年の数学や国語に比べ、「英語に対する興味や関心の低さ」が鮮明となっています。これについては「全学年共通の課題」としてとらえ、まずは「わかる授業」の実践にむけた授業改善に取り組み、プリント学習・添削による理解度のチェックを進めて参ります。また、TT指導を含めた「習熟度コース別学習」についても研究を始め、協議していきたいと思います。

## (2) 生徒質問調査の結果（長野県教育振興基本計画の指標項目）

（％）

質問項目	全国（公立）	県（公立）	令和元年度
① 学校の授業がよくわかる（国語）	77.6	79.2	87.2
学校の授業がよくわかる（数学）	73.4	75.6	80.0
学校の授業がよくわかる（英語）	66.0	66.0	50.9
② 自分の将来の夢や希望をもっている	70.5	70.2	63.6
③ 自分にはよいところがあると思う	74.1	74.1	76.3
④ 今住んでいる地域の行事に参加している	50.6	70.5	80.0
⑤ 人の役に立つ人間になりたいと思う	94.3	94.8	83.6
⑥ 毎日、朝食を食べて登校している	93.1	94.9	90.4
学校に行くのは楽しいと思いますか	81.9	81.3	81.8

## 【考察】

①は「授業がよくわかる」と答えた生徒の割合を示しています。国語・数学は、全国・県平均は全国・県の平均を大きく上回っており、調査結果と重なります。反対に英語は、全国・県平均を下回っており、これも調査結果に重なります。「英語学習」を本校の課題として、授業改善はもちろん、生徒の意識改善・取組改善を進めてまいります。また、学習全体では、友と話し合ったり教え合ったりして学習を進めることにより理解が進んでいる生徒と、基礎学力の不足から理解が進んでいない生徒の二極分化が進んでいることを強く感じます。TT指導を充実させ、生徒一人一人へのきめ細かな支援を充実させてまいります。

②③の結果からは、生徒たちの「自己肯定感」が見えてきます。生徒のよさを褒め・認め、励ます支援をこれからも継続し、更に自分自身に自信がもてる生徒の育成をめざしてまいります。

⑥より、毎日朝食を食べる生徒の割合は、昨年度（89.2％）に比べてやや増加しました。しかし、県平均の「94.9％」に比べると「まだ低い」と言えます。朝食は1日の活力となり、健康のバロメーターでもあります。夜遅くまでゲーム等をしていて朝起きられずに朝食を食べられない、家庭での生活リズムが合わずに朝食が食べられない等の理由はあるかとは思いますが、栄養バランスの取れた朝食が取れるようにご家庭でもお願いします。

## (3) 生徒質問調査の結果（抜粋）

（％）

質問項目	全国（公立）	県（公立）	令和元年度
① 先生は、わかるまで教えてくれる	84.6	85.1	87.3
② 家で、自分で計画を立てて勉強していますか	50.4	50.0	52.8
③ 授業でのICTの活用はどの程度でしたか	30.6	24.8	76.4
④ 授業で話し合う活動が効果的に行われている	72.8	72.0	76.3

## 【考察】

②について、自主学習につきましては、これまでに「自主学習ノート」を用意し、「克服、追究、発展」というように、自分が目的をもって取組めるように指導をしています。しかし、自分で計画を立てて学習に取り組んでいる生徒は約半数ですので、これからの受験勉強に向けて計画的に学習できるように指導してまいります。ご家庭でも「学習時間の確保」「規律ある生活」についてご指導ください。学力の向上には、家庭学習の充実が不可欠です。引き続きご家庭でもご指導お願いいたします。

③④からは、本校の「ICTを活用した授業」が日常化していること、東ミーティングに代表される「話し合い活動・聴き合う活動」が多く行われていることが確認できました。今、時代より求められている生徒につける力を確実につけられるよう努めてまいります。